

写真3 LED照明でのイルミネーション



ただくことや、施設開催のイベントを行うことも多くありますが、当施設では地域の企業と連携して行う事業も、地域貢献活動の一環として考え、活動を始めています。

具体的活動としては、相続、介護などの困りごとを相談できる「終活の困りごと相談」というフェスティバルを地域の企業と共同して開催しています。

また、大垣市では認知症の方やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「高齢者にやさしくし隊」という地域での仕組みづくりを行政が指導しています。その活動に各福祉施設が積極的に参加しており、当施設も高齢者に関する相談や情報提供、施設利用、相談支援などを行っています。

おわりに

地域との交流は、職員全員が地域とかかわることから始めるのが重要であると考えています。しかし、地域貢献というと携わる職員も構えてしまいがちで、何か特別にしなくてはいけない事業と考えてしまうこともありません。そのような考えをなく

し、長く継続して活動を行うためにも、当施設では、職員のコミュニケーションや接遇に関して、話し方、接し方マナーの研修を積極的に行っています。

地域貢献を行うなかでは、日常に溶け込んだ光景として、また施設にとっても地域にとっても、過大な負担や無理のない参加ができ、継続して行えるものであることが必要です。それぞれの施設がもつ地域への思いには差異があるかもしれませんが、しかし、それぞれの地域の特質や、個性を生かしながら、地域での施設存在感と、その意義を強化していくことこそ共存と共栄をもたらすのではないのでしょうか。

特殊な施設といった感覚や、非日常的な空間という概念をなくしていくためにも、これからも積極的に地域の皆様と活動を継続していきたいと思えます。

地域の皆様の健康と安全を守る

① 足湯処「うさぎの湯」

3年前には健康増進と気分転換、リフレッシュに役立つという観点で、職員や利用者からの意見を参考に、足湯処「うさぎの湯」を作りました（写真2）。当施設の1階を改修、拡張してリハビリコーナーとともに設置しています。

足湯の設置の計画段階から、発案職員が既存の足湯施設を調査して、施設ならではの工夫を加えることを課題に設定しながら作っていきました。そこから、足裏とふくらはぎの

リハビリを考慮した、ジェット噴射マッサーを付けることとなり、利用に訪れた方々に好評をいただいています。

「うさぎの湯」は、地域の皆様に無料開放し、自由に使っていたくことで健康増進にも貢献しようというねらいもあります。「サンカフェ」と連携することで、地域交流の場としての相乗効果を生んでいます。

近隣の介護福祉施設にも利用のアプローチを行って、当施設がもつ社会資源として活用していただけるようになっています。

② LED照明での

イルミネーション活動

また、当施設の地域では、町の通りを明るくして町おこしにつなげるために、「通りを飾るイルミネーションコンクール」が毎年実施されてきました。そこに近隣の有志とともに参加をして、賞を何度かいただいています。このコンクールに合わせ毎年当施設の周りにLED照明を

写真2 足湯処「うさぎの湯」



飾るようになりました（写真3）。施設の外を彩り、町の通りの一つとして人が行き交うことで防犯にもつながっています。職員も楽しみなが、少しづつ体裁を変えて、今後もLED照明の活動を継続していこうと考えています。

企業との連携

地域の自治会へのイベント参加などについては、地域から招待してい